

2020年3月期 第3四半期
2019年 4月 1日 ~ 2019年 12月 31日

連結決算の概要

株式会社 ジェイ・エム・エス

(証券コード 7702)

2020年2月6日

業績ハイライト

～2020年3月期 第3四半期～



百万円

	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	対前年同四半期 増減率
売上高	44,251	43,552	△698	△1.6%
営業利益	1,374	1,497	122	8.9%
経常利益	1,419	1,720	301	21.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	980	1,176	196	20.0%
1株当たり 四半期純利益	40円22銭	48円26銭	---	---

為替レート (期中平均)	米ドル	111.14円	108.67円
	ユーロ	130.97円	122.66円
	シンガポールドル	81.80円	79.48円

～減収増益～
(前期比減収も2期連続増益)

(対前年同四半期比)

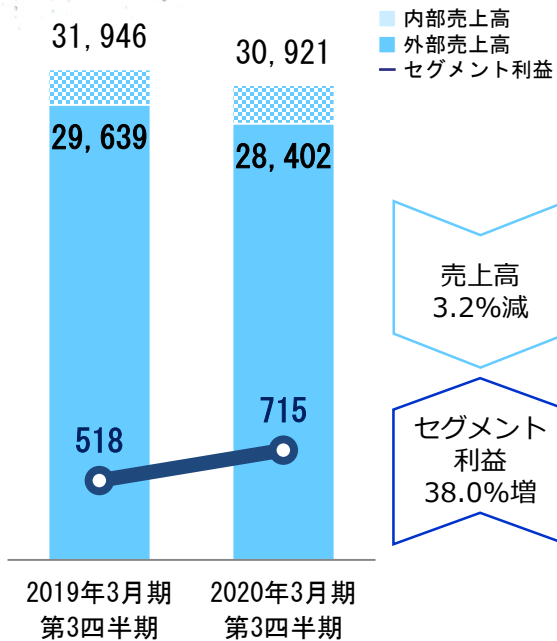
売上	日本	-血液バッグや薬剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」が増加 -摂食嚥下関連用品や血液透析装置が減少	利益	-労務費の低減や研究開発費(治験費用)の減少により営業利益は増加 -持分法による投資利益の計上などにより経常利益は増加
	海外	-血液バッグや成分献血用回路が増加		

セグメント業績

※所在地別、経常利益ベース

百万円

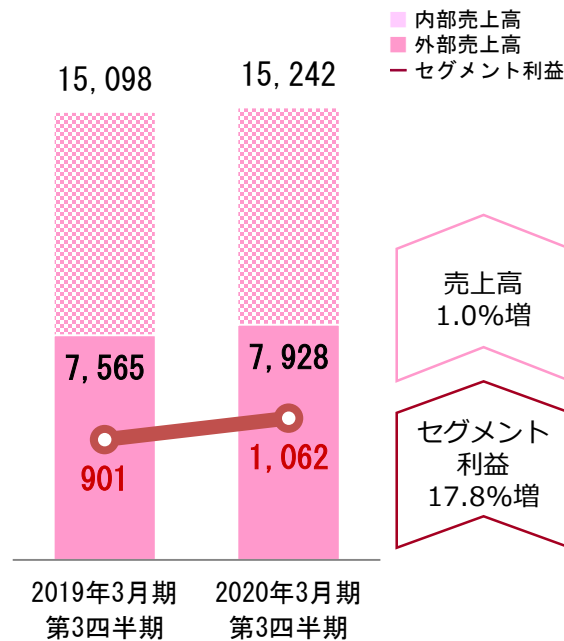
日本



【売上】血液バッグや薬剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」が増加した一方で、摂食嚥下関連用品や血液透析装置が減少

【利益】減収影響はあるものの、研究開発費の減少に加え、子会社からの受取配当金が増加

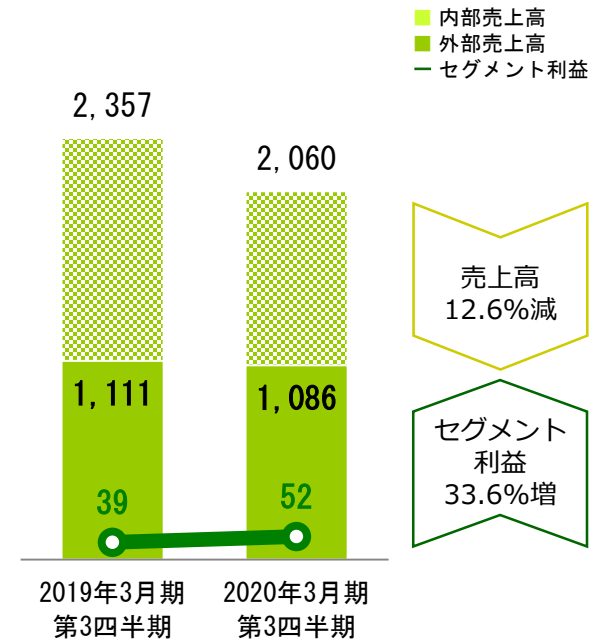
シンガポール※



【売上】北米向けの成分献血用回路やアフリカ向けの血液バッグが増加

【利益】労務費の低減に加え、増収効果により増加
※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。

中国



【売上】AVF針の販売が増加したものの、フィリピンへの生産移管により日本向けの輸液セットが減少

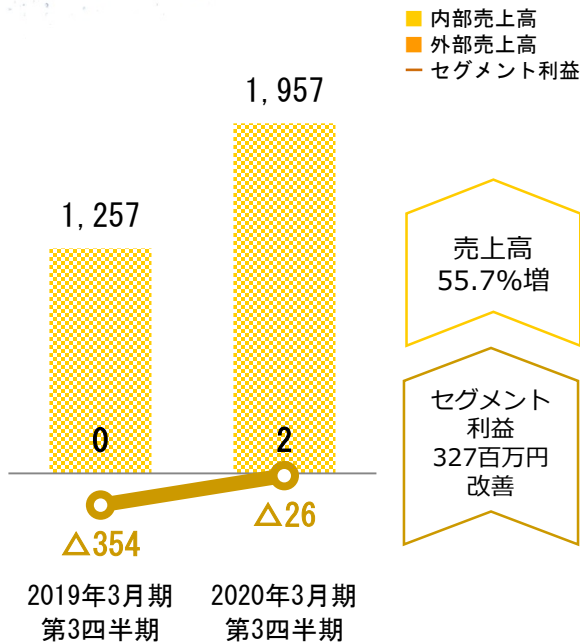
【利益】減収影響はあるものの、労務費や経費の低減に努めたことにより増加

セグメント業績

※所在地別、経常利益ベース

百万円

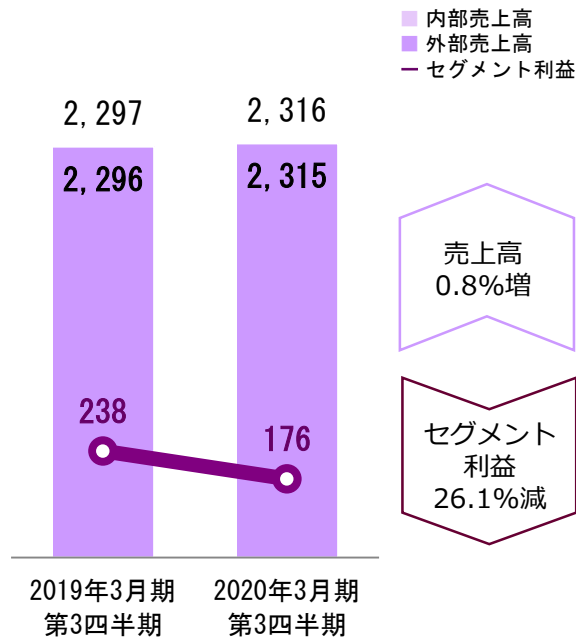
フィリピン



【売上】
日本向けの輸液セットが増加

【利益】
増収効果により損益状況は改善

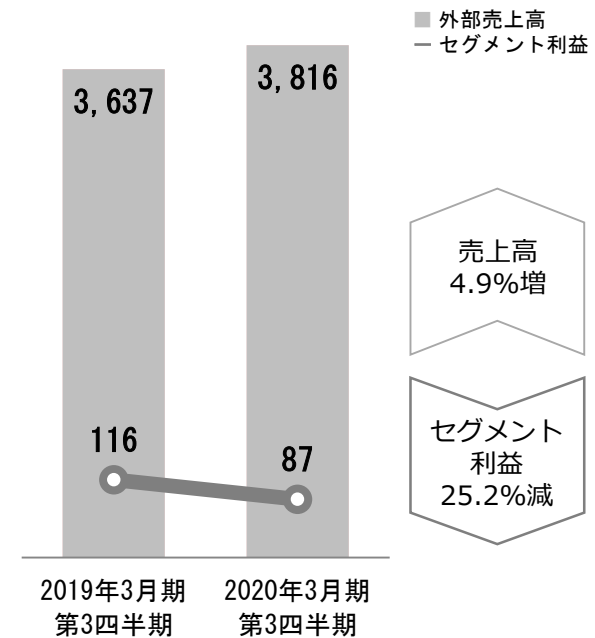
ドイツ



【売上】
血液バッグが増加

【利益】
為替による外貨建ての仕入取引にかかる原価が増加

その他※

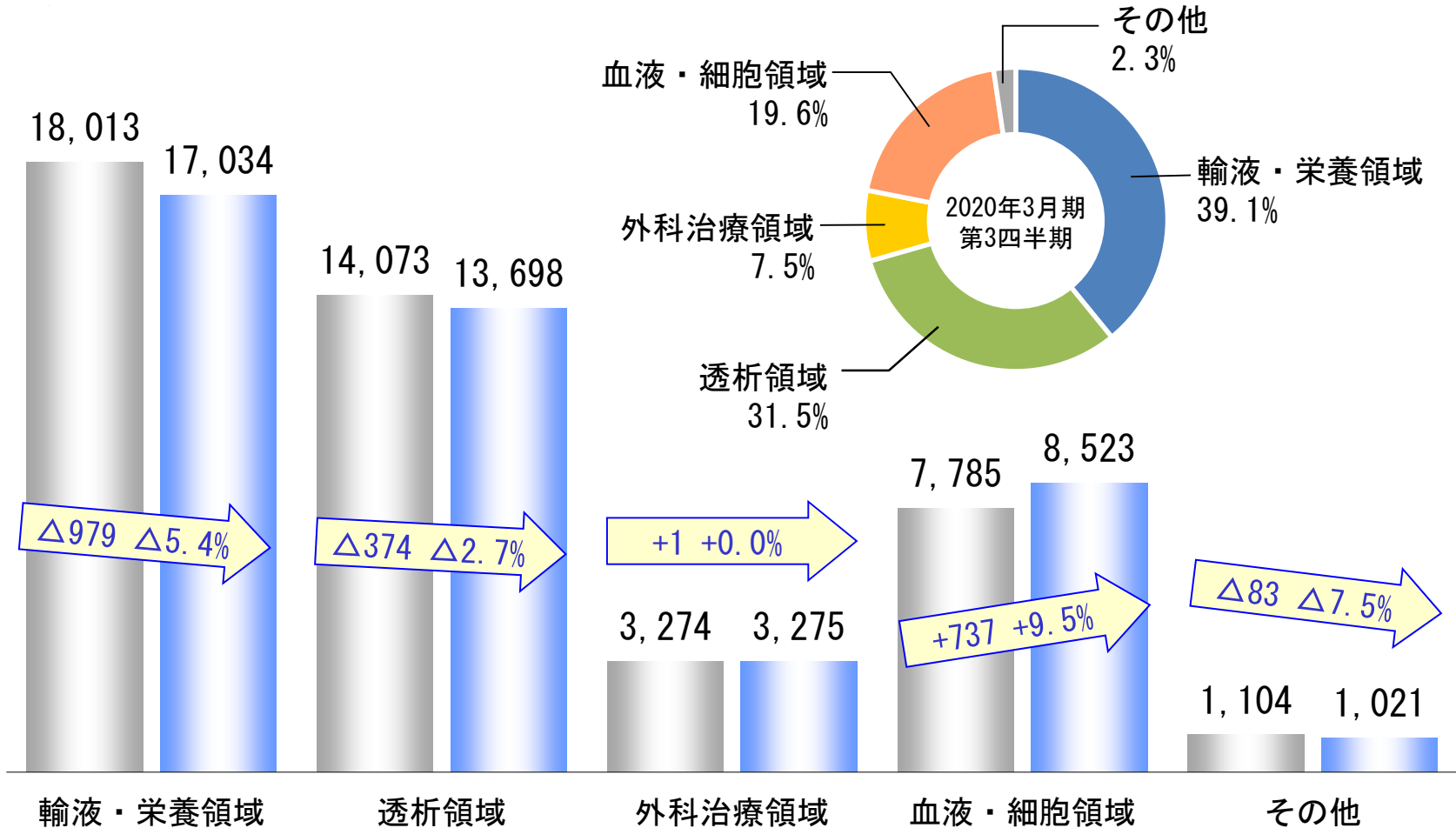


※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでいます。

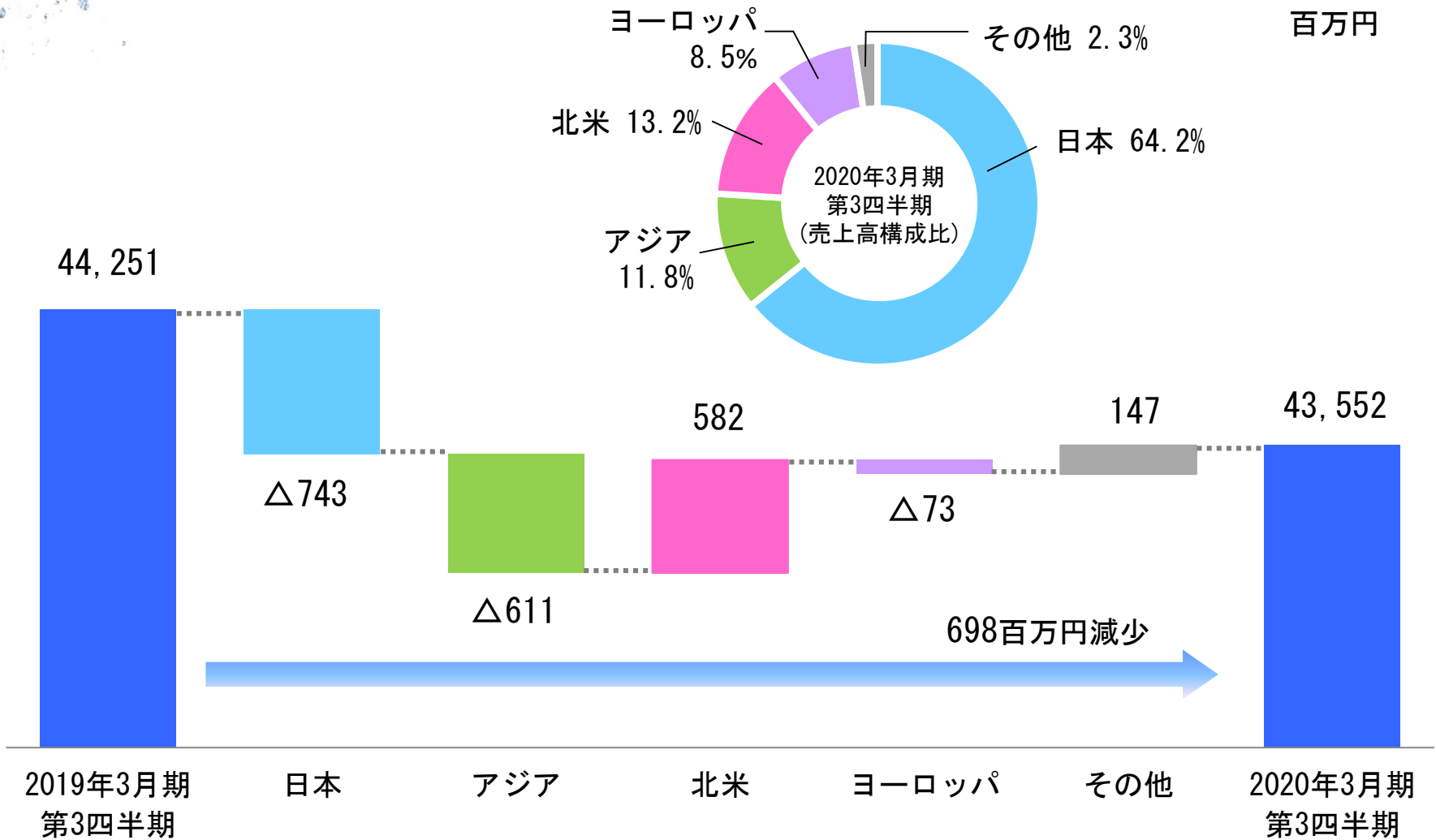
～前期末より報告セグメントの区分を変更しています～
従来「その他」に含まれていた「ドイツ」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載しています。なお、前年同四半期のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しています。

システム別売上高

2019年3月期 第3四半期
 2020年3月期 第3四半期
 百万円

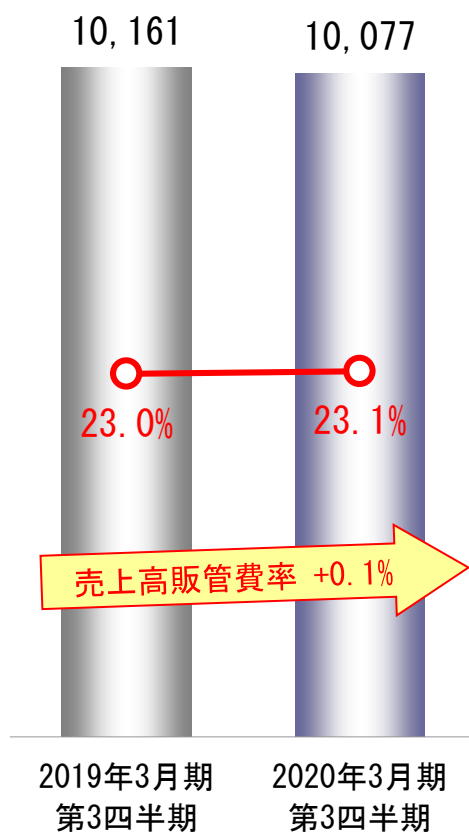


売上高増減分析 (顧客所在地別)



販売費及び一般管理費

百万円



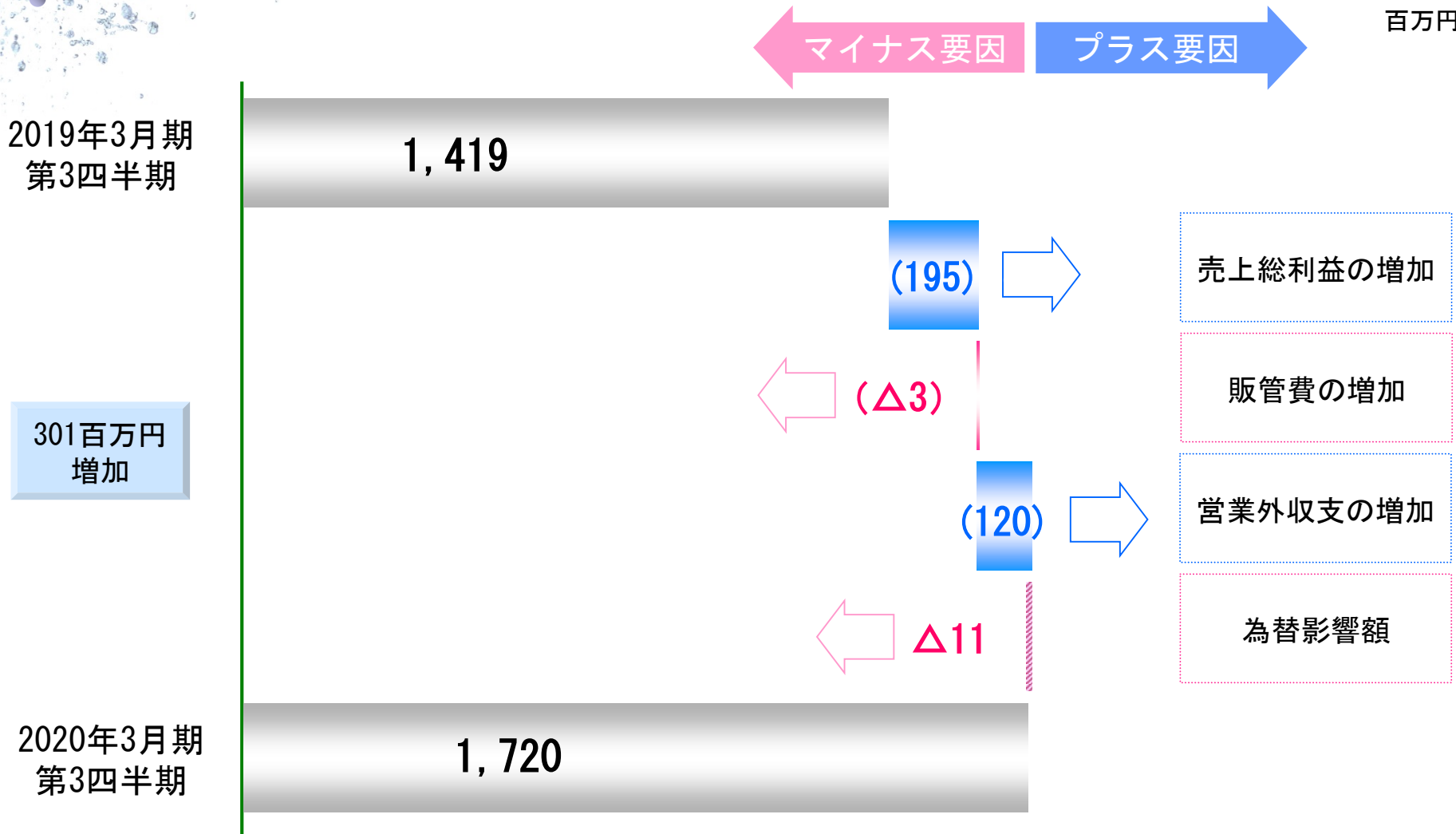
百万円

	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増 減	対前期 増減率
人 件 費	4,372	4,378	5	0.1%
運 送 費	1,244	1,288	44	3.5%
研究開発費	1,147	1,072	△75	△6.5%
減価償却費	248	264	16	6.6%
そ の 他	3,148	3,073	△75	△2.4%
計	10,161	10,077	△84	△0.8%

[研究開発費] 治験費用が減少しました。

経常利益：前期実績との比較

百万円



()内は為替影響を除く

2020年3月期 通期連結業績予想

百万円

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	対前期 増減率
売上高	58,059	60,000	3.3%
営業利益	1,462	1,800	23.1%
経常利益	1,520	2,000	31.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,160	1,400	20.7%
1株当たり 当期純利益	47円59銭	57円43銭	---

為替レート（期中平均）

米ドル	110.91円	110円
ユーロ	130.42円	125円
シンガポールドル	81.69円	82.5円

-医療機器投資ファンドに参画
2019年11月

-出雲工場に太陽光発電システムを導入
2019年10月



-お父さん・お母さんの働く会社を見学する「キッズ参観」を開催
2019年8月





人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。